

事項	葉色値による水稻品種「つがるロマン」の玄米タンパク含有率の推定														
ねらい	水稻品種「つがるロマン」の収穫前の葉色値から収穫後の玄米タンパク含有率を推定するための目安が明らかとなったので、参考に供する。														
指導参考内容	<p>1 葉色の測定方法</p> <p>(1) 葉色は葉緑素計 (SPAD-502) を使用し、株の最上位の止葉を、20株程度測定する。</p> <p>(2) 測定時期は、出穂後28日前後 (前後2日間程度) とする。</p> <p>2 良食味米生産のための葉色値の目安</p> <p>玄米タンパク含有率7%以下の葉色値の目安は、次のとおり</p> <table border="1" data-bbox="384 840 866 1104"> <thead> <tr> <th>出穂後日数 (日)</th> <th>葉色値 の目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>29.0</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>28.0</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>27.5</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>27.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 出穂後28日目以外の葉色値については、葉色の低下程度 (-0.5/日) から換算した目安</p>			出穂後日数 (日)	葉色値 の目安	26	29.0	27	28.5	28	28.0	29	27.5	30	27.0
出穂後日数 (日)	葉色値 の目安														
26	29.0														
27	28.5														
28	28.0														
29	27.5														
30	27.0														
期待される効果	「つがるロマン」の良食味米生産のための参考となる。														
利用上の注意事項	<p>1 生育ステージの違いによる影響が大きいので、出穂時期が大幅に異なるほ場では、精度が低下する可能性がある。</p> <p>2 測定は、葉身に傷みや極端な退色がない株で行う。</p>														
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター 環境保全部 (境谷栄二)	対象地域	「つがるロマン」 栽培地域												
発表文献等	平成18～19年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集														

【根拠となった主要な試験結果】

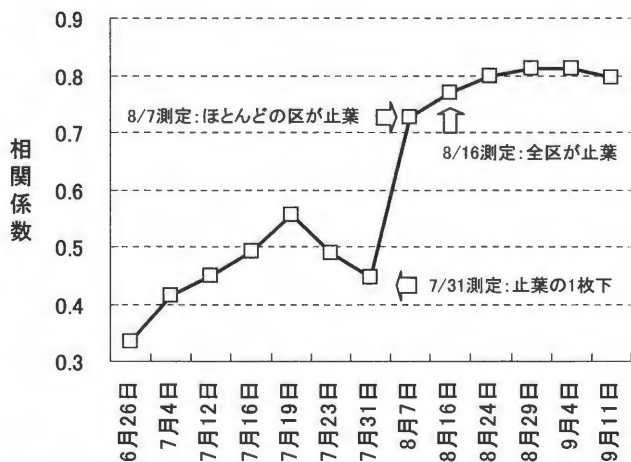


図1 葉色値と玄米タンパク含有率との関係 (平成18年 青森農林総研)

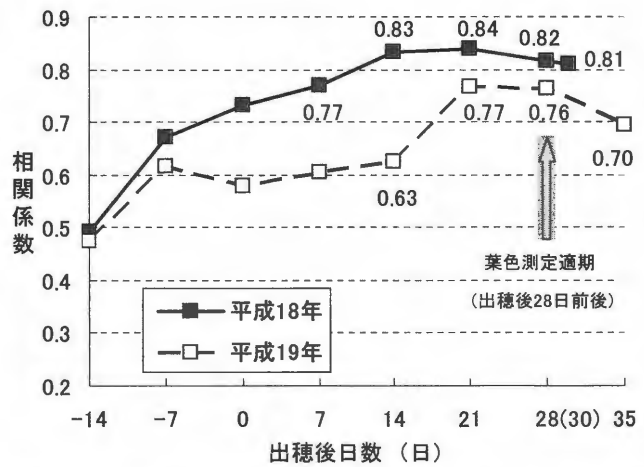


図2 出穂後日数でみた葉色値と玄米タンパク含有率との関係 (平成18~19年 青森農林総研)

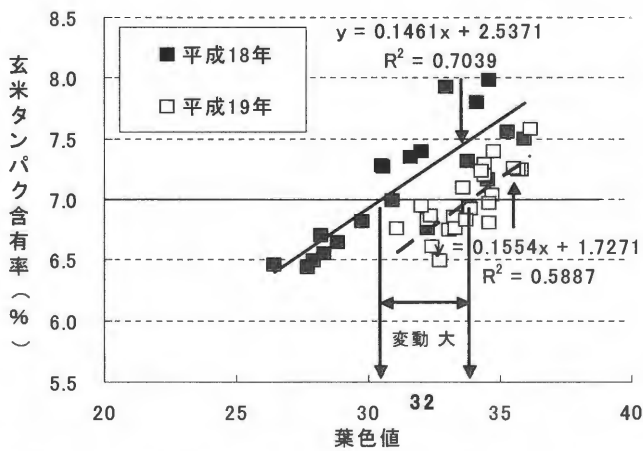


図3 出穂後21日目の葉色値による玄米タンパク含有率の推定 (平成18~19年 青森農林総研)

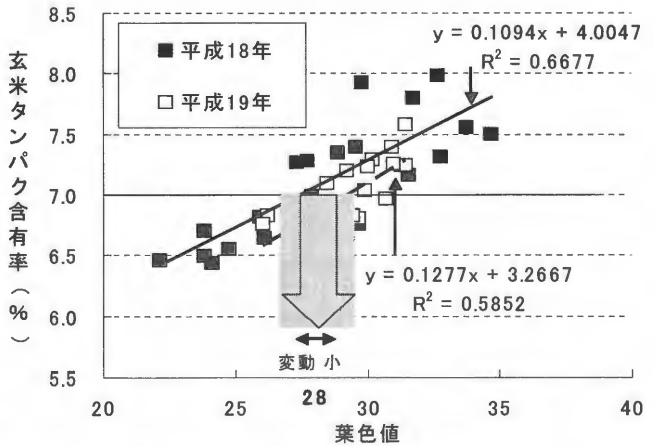


図4 出穂後28日目の葉色値による玄米タンパク含有率の推定 (平成18~19年 青森農林総研)

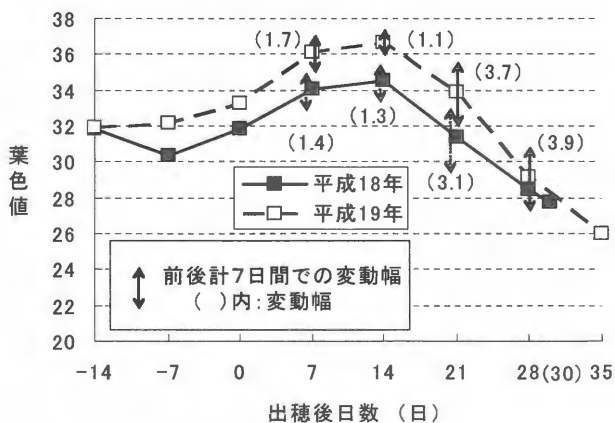


図5 出穂後日数と葉色値の推移 (平成18~19年 青森農林総研)

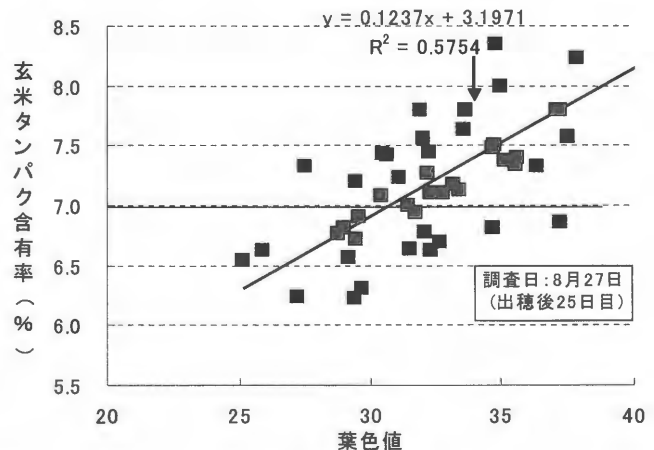


図6 現地における出穂後25日の葉色値と玄米タンパク含有率の関係 (平成19年 青森農林総研) (注) 調査場所:平川市

<参考>

葉緑素計 (SPAD-502) 価格: 126,000円 (税込)